

記載例

様式第1号（第6条関係）

令和8年 5月 15日

（宛先）能登町長

（〒927-0492）

所在地 能登町字宇出津ト字50番地1

団体名 能登町 復興推進課

代表者 ○○ ○○

電話番号 0768-62-8529

能登町復興まちづくり活動支援補助金交付申請書

標記のことについて下記のとおり実施したいので、能登町復興まちづくり活動支援補助金交付要綱第6条の規定により関係書類を添えて申請します。

なお、審査に必要な範囲で、構成員の住所を調査することに同意します。

記

- 1 補助金交付申請額 金 300,000円（千円未満切捨て）
- 2 事業の目的 ○○地区の防災知識を高め地域の防災力の強化を図る
- 3 事業計画の内容……………別紙1のとおり
- 4 経費の内訳（経費内訳書）……………別紙2のとおり
- 5 収支予算書……………別紙3のとおり
- 6 団体の活動内容等が確認できる資料（規約、名簿、活動実績等）

別紙 1

事業名	「〇〇地区防災力向上プロジェクト」 ～学びと体験で備える、共に助け合う地域づくり～
実施時期	令和8年 6月 6日 ～ 令和8年10月12日 (開催時期：令和8年6月7日) (視察研修開催時期：令和8年10月10日～11日)
活動地域	■宇出津 □高倉 □神野 □三波 □鶴川 □瑞穂 □柳田 □上町 □小間生 □岩井戸 □松波 □秋吉 □不動寺 □白丸 □小木 (該当地区にチェックしてください。複数地区可。)
活動テーマ	(復興計画又は地区別復興まちづくり計画の施策を記載) 方向性25 地域防災力の強化
事業内容	被災経験を踏まえ、災害時における「自助・共助」の重要性を再認識し、地域の防災力強化を図ることを目的とする。 具体的には以下の2点を実施する。 1. 防災研修会・学習会の開催 被災者・支援経験者を講師として招き、災害直後の困難や、その後の避難生活、地域連携の重要性についてリアルな体験談を聴講する。 また、質疑応答の時間では、住民の体験に基づく疑問や不安を共有し双方向の対話の場とした意見交換を実施する。 2. 現地視察研修の実施 外部の専門家・講師の案内のもと、先進的な防災設備や震災遺構等の現地視察を実施する。現地での知見に触れることで、地域課題への理解を深め、今後のまちづくりに活かせる具体的な知見を得る。
過年度 交付履歴	(交付は1事業につき2回まで) ○年度

注1) 実施時期は、準備期間を含めた期間を記載すること。

なお、行事の開催を目的としたものは、実施時期の下に () 書で開催時期を記載すること。

例：「(開催時期：○年○月○日)」

注2) 詳細な事業計画がある場合は、別に添付すること。

別紙 2

費 目		補助対象経費	積 算
事 業 費	講師謝金	30,000円	〇〇地区防災研修会 外部講師謝礼金 30,000円
	宿泊費及 び交通費	315,000円	外部講師の交通費及び宿泊費 〇〇県からの旅費 50,000円 町内の宿泊費（1泊） 15,000円 講師からの紹介のあった現地への視察 50,000円×5名=250,000円
	使用料	960円	公民館会議室使用料 160円×3時間×2回=960円
事 務 費		6,000円	会議資料作成費（コピー代） 20円×10ページ×15名×2回=6,000円
合 計		351,960円	

注1) 補助対象経費を別紙1に掲げる事業ごとの事業費、事務費に区分して記載すること。

注2) 補助対象経費欄の金額は、積算の合計額の千円未満を切り捨てた額とすること。

注3) 積算欄は、積算項目名、単価、数量、金額（円単位）を記載すること。

収 支 予 算 書

収入の部

(単位：千円)

項 目	金 額	備 考
町補助金	300,000円	
視察参加者負担金	50,000円	参加者負担金 10,000円×5名
〇〇地区	1,960円	
計	351,960円	

注) 備考欄には、参加費等を記載すること。

支出の部

(単位：千円)

項 目	金 額	備 考
講師謝金	30,000円	外部講師謝礼金
宿泊費及び旅費	315,000円	外部講師旅費・宿泊費、現地視察
会場使用料	960円	会議室使用料
事務費	6,000円	会議資料作成費
計	351,960円	

注 1) 別紙 2 の費目ごとに記載すること。

注 2) 金額は、総事業費を記載し、補助対象外経費がある場合は、備考欄に「〇〇など
〇〇円補助対象外」と記載すること。